



News Release

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

東京都千代田区丸の内 1-11-1
Tel: 03-6860-8373

2012年7月25日

コーポレート・ガバナンスのコンサルティングを本格開始

～日本企業に対するグローバル・コーポレート・ガバナンス・プログラムを開発～

ジェイ・ユーラス・アイアールとソダリ社は、共同で、コーポレート・ガバナンス、取締役会の評価、株主に対するエンゲージメントなどに関する戦略的なアドバイスを行うガバナンス・プログラムを、日本企業に提供することを発表した。

ジェイ・ユーラス・アイアール(本社:東京・千代田)は、本日、日本企業に対するガバナンス強化プログラムの詳細を発表した。このプログラムは、同社の創業パートナーである岩田宜子と高山与志子が、ヨーロッパをベースとしてグローバルにサービスを提供しているリーディング・コンサルティング会社のソダリ社(本社:イタリア・ローマ)と共同で開発したものである。

ジェイ・ユーラス・アイアールの岩田社長は、「過去数年間の金融庁や東証のイニシアチブのもとで進められているガバナンス改革に対応するために、弊社の顧客から、コーポレート・ガバナンスに関するアドバイスを求められることが、非常に増えてきた。さらに、弊社の顧客の多くは、持合の解消が今後も進む一方で、海外投資家の日本株に対する懸念が増していることについて、心配しており打開策を求めている。このことが当プログラムを進めた背景にある。」と、述べている。

同社のマネージング・ディレクターであり、国際コーポレート・ガバナンス・ネットワークの理事でもある高山は、「注目を集めた一部の日本企業の問題が、日本の金融市場全体に対してネガティブな影響を与えており、日本企業が持つリスクや問題に対する懸念が、海外投資家の間で高まっている。日本企業は、海外投資家の信頼を回復するために積極的に動かなければならない。」と、述べている。

日本企業向けのコーポレート・ガバナンス・プログラムでは、以下の内容のコンサルティングを提供する。

- ・ 海外と日本のベストプラクティスおよび規制にもとづくコーポレート・ガバナンス・ベンチマーキングとそれに関するパーセプション・スタディ
- ・ 取締役会評価プログラム
- ・ コーポレート・ガバナンス、取締役の責任と株主対応に関するリサーチおよび戦略的なコンサルティング
- ・ 機関投資家へのコンタクト、エンゲージメント、投資家訪問に関する支援
- ・ 株主総会での機関投資家対応への準備と実施に対する支援
- ・ 株主、議決権行使アドバイザー、およびアクティビスト対応におけるディスクロージャー・ポリシーとコミュニケーションに関する戦略的アドバイス
- ・ M&A、TOB、その他有事における支援サービス

岩田社長は、この新しいガバナンス・プログラムは、これまでのIR活動や投資家コミュニケーションとは、以下の二つの理由で異なっていると述べている。

第一に、同プログラムのコミュニケーションでは、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する重要な情報が、従来の財務情報を中心としたコミュニケーションに新たに加わっている。

第二に、従来コンタクトしてきた投資家やアナリストに加えて、ガバナンスや議決権行使に関して意思決定を行う担当者やESG投資家をターゲットとしている。

このような広範囲かつ包括的なIRに対するアプローチは、協働パートナーであるソダリ社が、ヨーロッパおよびラテンアメリカの顧客企業に対して過去数年間にわたって開発し提供してきたものである。

日本企業は、当局による規制や法律よりはむしろ、企業が自発的にイニシアチブをとって自らのプラクティスを改善する方法が、より投資家にアピールすると考えている。法制審議会が会社法による社外取締役義務化を見送るとの報道があるなかで、企業には、資本市場における差別化が一層期待されている。また、日本企業は、外部に公表せず、社内において、自社の

ESGに関する活動内容をベンチマークと比較し、グローバル・スタンダードのメリットについて議論し、自社の事業戦略と整合性がとれた適切な変化を、自社のペースで導入するやり方を好んでいる。今回のプログラムは、日本企業のそのようなニーズに合致したものと言えよう。

ガバナンス・プログラムは、株主総会に関する支援も含まれており、海外の投資家による議決権行使促進をより効果的に進めることが可能となる。「株主総会は、いまやガバナンスの問題に注目が集まるイベントとなっている。」と岩田社長は述べている。「今回のコンサルティング・サービスの目標は、日本企業が、総会に関する株主の期待をコントロールし、ガバナンスに関する誤解を解消し、メディアにも正しく理解してもらうことである。」とも述べる。

高山マネージング・ディレクターは、ソダリ社と共同でこのプログラムを進めることにしたのは、同社が世界中に顧客を持ち、コーポレート・ガバナンス、株主対応、そして、広範囲なアドバイザリー・サービスとクロスボーダーの議決権行使の分野で、多くのノウハウと経験を持っているからである、と述べている。

さらに、ソダリ社を協働相手として選択した理由として、次の三つの重要なポイントがあると、述べている。

第一に、ソダリ社は、企業のみを顧客としており、投資家など企業と対立する関係になりうる相手を顧客としない方針をとっている。

第二に、ソダリ社は、ビジネス遂行のための厳しい規範を設けているため、厳格な機密保持の体制を構築しており、かつ、弊社の顧客を利害相反の問題から守ることができる。

第三に、ソダリ社は、ヨーロッパ型の「原則ベース」のガバナンス・システムを推進しているが、この原則ベースの方法は、米国型の厳格な「ルール主義」のガバナンス・モデルをあまり好まない日本企業にとって、魅力的であり最適なものであると言える。

高山マネージング・ディレクターは、「ソダリ社の会長であるジョン・ウィルコックス氏は日本ではよく知られており、20年以上にわたって日本企業に関する仕事にかかわってきた。」と指摘する。ウィルコックス氏は、多くの日本企業に投資している全米最大規模の年金基金であるTIAA-CREF(全米教職員退職年金基金)で、コーポレート・ガバナンス部門の最高責任者の任にあった。

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

ジェイ・ユーラス・アイアールは、2000 年に創立された独立系のコンサルティング会社ある。IR の分野のパイオニアとして、日本企業が世界でガバナンスやIRに関して直面する様々な問題を解決することを支援してきた。同社の創立者は、ガバナンスや資本市場に関する国内外の主要な機関での経験（東証のディスクロージャー優良企業選定委員会メンバー、ICGNの理事など）を有している。同社は、IRやガバナンスの分野における業界のリーダーとして、日本企業の考え方を世界の金融市場に伝えることに貢献している。

About Sodali (<http://www.sodali.com>)

ソダリ社は、グローバルはコンサルティング会社であり、コーポレート・ガバナンス、機関投資家との IR、株主総会に関するアドバイス、クロスボーダーの議決権行使に関しては、業界のリーダーとして高く評価されている。ソダリ社のミッションは、「企業と投資家の利害を一致させる」ことであり、企業のガバナンスと事業戦略は企業とそのステークホルダーの長期的な経済価値に貢献するべきであるとの考えにもとづいている。世界有数の大企業に対するコンサルティングに加えて、ソダリ社は、新興市場の企業、ファミリー企業、相互会社、国営企業に対しても、多くのアドバイスを提供している。同社の本社はローマにあり、欧州では、ロンドン、パリ、ミラノ、ジュネーブ、アテネ、マドリッドにオフィスを持ち、米国ではニューヨークにオフィスがある。加えて、そのほかの世界の金融センターにも代表事務所をおいている。

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社について

日本企業のニーズを満たし、しかも世界レベルの IR 活動を日本企業に提案・展開・推進する日系初のグローバル IR コンサルティング会社。東京のほか、ロンドン、ニューヨークに拠点を置く。日本企業への提案力に関しては高い実績があり、IR に関する経営陣へのコンサルティングでは、時価総額 1 兆円以上企業から新興企業までを顧客とする。

オフィス: 東京都千代田区丸の内 1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 8 階
電話: 03-6860-8373 <http://www.j-eurusir.com/>

このリリースに関するお問い合わせは、下記をお願いいたします。

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

Tel. 03-6860-8373 携帯電話: 090-6021-1230 担当 岩田・高山